



刷毛目鉢（水指） 清水六兵衛作



京焼の清水六兵衛作の刷毛目鉢になります。ぴったりと合う塗り蓋が添えられており以前の持ち主が水指としてもお使いになっていたようです。

共箱 直径約20.5cm 高さ約9cm
¥25,000(税込)



仁清菊流水絵輪花水指 平安巖作



仁清写しの菊流水絵の輪花形水指になります。京焼の陶工である山川巖の作。

共箱 直径約21cm 高さ約15cm
¥48,000(税込)



唐津釉水指 豊田木元作 青々斎箱



藪内流の門下で陶芸家であった豊田木元作の唐津釉水指で藪内流13代の青々斎宗匠の箱となっております。肩の部分に墨座のかたどられた水指になります。

共箱 直径約18cm 高さ約17cm
¥58,000(税込)



青磁水指 加藤実作 猗々斎箱



清水焼の陶工である加藤実作の青磁水指になります。藪内流12代猗々斎宗匠の箱。加藤家は初代加藤溪山より青磁の良品を生み出しています。

共箱 直径約21cm 高さ約10cm
¥75,000(税込)



九谷焼安南写雲堂手水指



九谷焼の安南写し雲堂手水指になります。雲堂手とは雲の上に楼閣の描かれているものを、雲堂または雲屋台と称します。まれに人物を配したものもあります。

共箱 直径約17.5cm 高さ約12cm
¥100,000(税込)



古染付四方水指



古染付の四方水指になります。底には「大明宣徳（～1435年）年製」とされていますがそれよりも200年以上あとの中国明時代崇禎期（1628～1644）頃までの間に、景德鎮民窯で焼かれたものに近いようです。古染付の特徴である虫食いやほつが多く見られます。

時代箱 縦横約12.5cm 高さ約13cm
¥200,000(税込)



鉄釉平水指 千亀利窯 小林一雅造



鉄釉の平水指で泉州千亀利窯の小林一雅造となっております。大ぶりで長板二も堂々と映えるサイズになっており、割蓋であることから真夏の茶席で活躍してくれます。もちろんお稽古にも。

共箱 直径約35cm 高さ約13cm
¥30,000(税込)



高取掛分水指 高取八仙作 青々斎箱



高取焼の掛分水指で藪内流13代青々斎の箱となっております。高取焼らしい薄造りの水指で口の部分にゆがみがあるのも特徴になっています。

共箱 直径約17cm 高さ約16cm
¥65,000(税込)



清水焼紅葉七宝紋透かし水指



清水焼の色絵紅葉の七宝透かし水指になります。二重構造になっており内側に落としの形で水を入れる部分があり、七宝の透かしを意匠として入れています。

桐箱 直径約15cm 高さ約14cm
¥80,000(税込)



ギヤマン四方水指



ギヤマンの四方水指となっております。夏のお茶席に涼しげな水指になります。蓋を外せば菓子器としてもお使いいただけます。

桐箱 縦横約20.5cm 高さ約10cm
¥88,000(税込)



瀬戸掬貫手写水指 麦岱作 透月斎箱



瀬戸の掬貫手写水指で瀬戸の名工であった加藤麦岱（ばくだい）作になります。掬貫とはらせん状のろくろ目のある焼物のことです。藪内流11代透月斎宗匠の箱。

共箱 直径約13cm 高さ約13cm
¥100,000(税込)



唐物写古銅抱桶水指 中川浄益作



唐物写しの古銅抱桶水指で鑄物師の中川浄益の作となっております。抱桶とは水を入れて手許に置き、暑さをしのぐために抱いたもので本歌は足利義政が所持したものと伝えられ、のちに三条西実隆が藪内宗把にこれを譲りましたが、宗把から利休、藪内剣仲が引き継ぎ、燕庵名物として六代比老斎まで伝来しましたが、西本願寺文如上人に贈られ、以後は本願寺に伝えられたといわれます。共箱 直径約16cm 高さ約20cm

¥180,000(税込)



古九谷写花鳥絵蓋置 須田青華作

九谷焼の陶工である須田青華作の古九谷写しの花鳥蓋置になります。

共箱 直径約6cm 高さ約5cm
¥15,000(税込)



ギヤマン螺子立鼓形蓋置 宮田高志作

ギヤマン、ガラス製の螺子立鼓形蓋置でガラス作家の宮田高志の作となっております。青の美しい蓋置になります。

共箱 直径約5.5cm 高さ約6cm
¥20,000(税込)



火屋香炉蓋置 金谷五良三郎作

鋳物師の金谷五良三郎作の火屋香炉形蓋置となっております。古銅の写しのように重厚な造りになっています。

共箱 直径約5.5cm 高さ約7cm
¥25,000(税込)



金欄手分銅形蓋置 桐山作

琴浦窯の和田桐山作の金欄手分銅形蓋置となっております。藪内節庵の門下であった山口吉郎兵衛蔭庵の好みです。分銅の形であったのは吉兵衛が大阪第百四十八国立銀行の頭取であったことからかと思われます。

共箱 直径約6cm 高さ約5.5cm
¥30,000(税込)



卍透し蓋置 膳所焼陽炎園製 青々斎箱

膳所焼陽炎園製の卍透し蓋置で藪内流13代青々斎宗匠の好みとなっております。藪内家の家紋である卍を透かしに入れた蓋置です。

共箱 直径約5cm 高さ約4.5cm
¥25,000(税込)



鉄絵輪蓋置 永楽即全作

16代永楽善五郎即全作の鉄絵輪蓋置になります。下部より上部が少し大きくなっており端ぞりした造りになっています。

共箱 直径約6cm 高さ約5.5cm
¥30,000(税込)



一閑猫蓋置 今岡三四郎作

京焼の現代の作家である今岡三四郎作の一閑人ならぬ一閑猫蓋置になります。一閑人という井戸を人がのぞき込むような蓋置を猫が水場の金魚をのぞき込む形に変えている遊びのきいた蓋置です。可愛らしいです。

共箱 縦約6.5cm横約4.5cm 高さ約6cm
¥20,000(税込)



よせ竹蓋置 橋口宗栄作

藪内流の塗師である橋口宗栄作のよせ竹蓋置になります。染み竹、煤竹と珍しい竹を組み合わせた侘びの蓋置になります。

共箱 直径約5cm 高さ約5.5cm
¥15,000(税込)



鋳銅時代車蓋置 鉄也作

鋳銅時代車蓋置で鋳物師の鉄也の作となっております。時代車、とあるように一部欠けているモチーフとなっています。

共箱 縦横約5cm 高さ約5cm
¥30,000(税込)



竹銀線紋蓋置 慶州作

竹節形の銀線紋蓋置で鋳物師の井波慶州の作となっております。

共箱 直径約5cm 高さ約4.5cm
¥20,000(税込)



萬壽菊立鼓形蓋置 白井半七作

今戸焼の陶工である白井半七作の萬壽菊立鼓形蓋置になります。萬壽菊は光琳菊とも呼ばれ丸く描かれた菊になります。立鼓(りゅうご)形は文字通り鼓(つづみ)を縦に置いた形です。

共箱 直径約5.3cm 高さ約5cm
¥20,000(税込)



唐銅太鼓胴桐透かし蓋置 村田耕閑作

古くは藪内流の鋳物師であった村田耕閑作の唐銅太鼓胴桐透かし蓋置になります。藪内流の好みのものにはこの太鼓胴の形が多く見られます。

共箱 直径約5cm 高さ約4.5cm
¥30,000(税込)

鬼灯香合 畦地多喜翁作



石川の乾漆の作家である畦地多喜翁（あぜちたけお）作の鬼灯香合になります。

共箱 縦約5cm横約4cm 高さ約5cm
¥20,000(税込)

桐実香合 静峰作



塗師静峰作の桐の実香合になります。桐は初夏に紫色の花を開き、秋に尖った卵形の実を結びます。

共箱 縦約3cm横約5cm 高さ約3cm
¥20,000(税込)

碧ガラス渦香合 宮田高志作



ガラス作家である宮田高志作の碧ガラス渦香合になります。

共箱 直径約7.5cm 高さ約3cm
¥25,000(税込)

鳥帽子香合 橋口宗栄作



藪内流の塗師である橋口宗栄作の鳥帽子（えぼし）香合になります。古くは黒の紗の布で造られ、のちに紙や漆などが使われるようになりまし。黒い帽子、ということで鳥の字が使われています。

共箱 縦約8.5cm横約5cm 高さ約7cm
¥68,000(税込)

大徳寺古材一文字香合 春斎作



大徳寺古材の一文字香合で2代前端春斎作になります。中村祖順和尚の花押が内側にされています。

共箱 直径約7.5cm 高さ約2.5cm
¥20,000(税込)

菊形香合 飛来一閑作 透月齋箱



一閑張りの塗師である14代飛来一閑作の菊形香合で藪内流11代透月齋宗匠が箱を書かれています。菊の蓋物のような形状をしています。

共箱 直径約6.7cm 高さ約4cm
¥100,000(税込)

根太香合 橋口宗栄作 青々齋在判・箱



藪内流の塗師である橋口宗栄作の根太香合で藪内流13代青々齋宗匠の金泥在判と箱になっております。

共箱 直径約6.5cm 高さ約4cm
¥40,000(税込)

松香合 燕庵の袖松を以て造る 桂隠齋在判・箱



藪内流7代桂隠齋竹翁宗匠作の松香合で銘を「齡の友」とされています。箱に燕庵の袖松を以て造る、とあり庭の材から造られたようです。

共箱 直径約7cm 高さ約4cm
¥140,000(税込)

ふくべ香合 春理作 透月齋箱



乾漆のふくべ香合で塗師の春理作となっております。藪内流11代透月齋宗匠の箱で紹瓢の好みとされています。華奢で可愛らしい香合です。

共箱 直径約4cm 高さ約6.5cm
¥80,000(税込)

交趾菊蟹香合 通次阿山作 青々齋箱



京焼の陶工、通次阿山作の交趾菊蟹香合で藪内流13代青々齋宗匠が箱を書かれています。交趾の菊蟹香合は形物香合相撲番付表、東一段目前頭三枚目に位置しています。

共箱 直径約7cm 高さ約4cm
¥30,000(税込)

唐物柚子香合 透月齋箱



唐物の柚子香合で藪内流11代透月齋宗匠の箱となっております。乾漆の香合で堆朱や布張りなどの多くの技法が使われています。

識箱 縦約4cm横約6cm 高さ約4.5cm
¥240,000(税込)

おりべ袂香合 透月齋在判・箱



藪内流11代透月齋宗匠在判・箱のおりべ袂香合になります。家伝の写しと記されており古田織部より流祖剣仲に手渡された藪内流の中でも大事な形の香合となっております。

共箱 縦横約5cm 高さ約5.5cm
¥50,000(税込)



金彩鳳凰紋香合 徳泉作

京焼の陶工である西村徳泉作の金彩鳳凰文香合です。美しい鳳凰と桐と雲が描かれています。鳳凰は桐の木に住み竹の実を食べるといふ言い伝えから、一緒に描かれることが多くなっています。

共箱 縦約6cm横約5.5cm 高さ約3cm
¥20,000(税込)



交趾亀香合 通次阿山作

京焼の陶工である通次阿山作の交趾亀香合になります。「形物香合番付」の東の大関・交趾大亀香合の写しで本歌よりかなり小型になっています。

共箱 縦約8cm横約5cm 高さ約4cm
¥25,000(税込)



笹竹の絵香合 龍靖作 青々斎在判・箱

京焼の小栗龍靖作の笹竹の絵香合で藪内流13代青々斎宗匠が「往還（おうかん）」と書かれています。意味としては「行き来すること」となります。竹風会北海道支部の猗々斎宗匠の七回忌に際してのお道具です。

共箱 直径約7cm 高さ約2cm
¥35,000(税込)



安南写宝珠香合 永楽正全作

京焼の15代永楽善五郎正全作の安南写し宝珠香合になります。蓑や巻物などの宝尽くしが描かれた香合になります。

共箱 直径約6.5cm 高さ約4cm
¥48,000(税込)



信楽写香合 透月斎好 永楽正全作

藪内流11代透月斎宗匠好みの信楽写し香合になります。京焼の15代永楽善五郎正全の作。青々斎宗匠の箱となっております。

共箱 縦横約6.5cm 高さ約5cm
¥65,000(税込)



萩狸香合 休々斎箱

萩焼の狸形香合で藪内流10代休々斎宗匠の箱となっております。萩焼は嵌入や土のでる坂窯とこの香合のような細かい白釉の松本萩の2手に分類されます。

共箱 直径約5.5cm 高さ約6cm
¥88,000(税込)



本願寺裂 緑地牡丹唐草文金欄出帛紗

本願寺裂の緑地牡丹唐草文金欄出帛紗になります。牡丹は花の豪華なことから中国では花王と称し、富貴の象徴とされました。また唐草は植物の広がる様子から一族の繁栄などの祈りを込めてかたどられることの多い意匠になっています。

桐箱 縦約30.5cm 横約28cm
¥30,000(税込)



古代裂出帛紗 徳斎作

古代裂の出帛紗になります。古代裂とは歴史の古い織物の断片のことです。一般的には100年ほどたっている裂地のことで、現在では明治中頃までのものを含めて「古代裂」と呼んでいるようです。北村徳斎の製。

共箱 縦約30cm 横約29cm
¥30,000(税込)



夫婦鶴小帛紗 猗々斎在判

夫婦鶴の小帛紗で藪内流12代猗々斎宗匠の在判になります。こちらをもとにした赤膚焼のお茶碗も焼かれています。

紙箱 縦約15.5cm 横約15.5cm
¥30,000(税込)



龍七宝紋出帛紗

龍七宝紋の出帛紗になります。藪内流の出帛紗になります。

紙箱 縦約30.5cm 横約29cm
¥25,000(税込)



藪内流好み形 紙釜敷

藪内流の好み形の紙釜敷になります。炭点前の釜敷にはもちろん、床飾りの香合の下にもお使いいただけます。二つ折りなのが特徴です。

紙箱 縦約14.5cm横約18cm 高さ約2cm
¥20,000(税込)



藪内流好み形 紙釜敷（銀）

藪内流の好み形の紙釜敷になります。こちらは銀散らしの灰色の紙が使われており追悼のお茶会などでお使いいただけます。

紙箱 縦約14.5cm横約18cm 高さ約2cm
¥20,000(税込)



色紙茶箱 長以作 猗々斎歌添え



藪内流の指物師であった松村長以作の桐木地の色紙茶箱で藪内流12代猗々斎宗匠が歌を添えています。「ちりにけりくれ竹の葉をあしとりてよむともしき貴美かよわいかな」とそえられています。

紙箱 縦約19cm横約29cm 高さ約31cm
¥85,000(税込)



蓬萊茶箱 橋口宗栄作 青々斎在判



藪内流の塗師である橋口宗栄作の蓬萊茶箱で藪内流13代青々斎宗匠の在判となっております。少し染みあり。

紙箱 縦横約22cm 高さ約13cm
¥100,000(税込)



春慶塗り山里棚 乾老舗製



春慶塗りの山里棚で乾老舗製です。炉用の山里棚になります。

紙箱 縦約32.5cm横約48cm 高さ約33.5cm
¥40,000(税込)



帛紗棚 松村長以作



藪内流の指物師であった松村長以作の帛紗棚になります。四方三段の棚で、中棚の客付が斜めに切られて三角形であるところからこの名が付けられ、藪内十八種棚の一つに数えられます。

共箱 縦約26cm横約29cm 高さ約44.5cm
¥88,000(税込)



紹鷗棚 美昭作

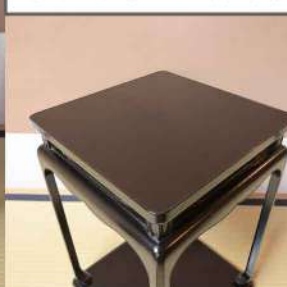


藪内好の紹鷗棚になります。唐物写の三段棚で朱、黒、木地と様々な仕上げがあります。時代の劣化はややありますが落ち着いた朱色となっています。塗師の美昭の作。

紙箱 直径約35cm 高さ約50cm
¥180,000(税込)



中央卓 表哲作



藪内十八種棚の一つである中央卓（ちゅうおうじょく）になります。唐物の飾り棚の写しで格式のあるお棚になります。表哲の塗り。

共箱 縦横約30.5cm 高さ約40.5cm
¥300,000(税込)



袋棚 橋口宗栄作



桐木地の袋棚で橋口宗栄作になっております。志野棚、または利休袋棚とも呼ばれ古くから使われる棚であります。

紙箱 縦約38cm横約77cm 高さ約60.5cm
¥150,000(税込)



壺蘆棚 橋口宗栄作



藪内流7代桂隠斎宗匠好みの台目棚である壺蘆棚で橋口宗栄の作となっております。壺蘆棚は西本願寺の文如上人の居間であった胡蘆庵の欄間の透かし彫りを拝領し考案された棚です。

桐箱 縦約45cm横約92cm 高さ約60.5cm
¥180,000(税込)



丸太炉縁 駒沢利斎作 長生庵箱



指物師駒沢利斎作の丸太炉縁で表千家長生庵の箱書きとなっております。藪内流では広間小間の炉縁の差異はなく、季節によって塗りと木地の炉縁を分けることがよいとあります。

共箱 縦横約42.5cm 高さ約7cm
¥30,000(税込)



黒蠟色炉縁 後藤瑞蔵在判・箱



黒蠟色の炉縁で大徳寺五百三世管長の後藤瑞蔵和尚の在判と箱となっております。

共箱 縦横約42.5cm 高さ約7cm
¥30,000(税込)



梅の木炉縁 稲尾誠中作



指物師の稲尾誠中作の梅の木炉縁になります。材の特徴を活かした炉縁になります。

共箱 縦横約42.5cm 高さ約7cm
¥35,000(税込)



嶋柿炉縁 北野天満宮神苑之以古材造る



嶋柿の炉縁で箱表に北野天満宮神苑の古材を以て作る、となっております。嶋柿の材の大変重厚な炉縁です。

共箱 縦横約42.5cm 高さ約7cm
¥68,000(税込)